

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	吉里雄伸
連絡先メールアドレス	y-yoshizato@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	助教
所属	リハビリテーション学科
略歴	<p>【学歴】</p> <p>2011年 九州看護福祉大学 看護福祉学部 リハビリテーション学科卒業</p> <p>2017年 九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科 修士課程入学</p> <p>2020年 九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科 修士課程修了</p> <p>2021年 九州工業大学 生命体工学研究科 生命体工学専攻 入学</p> <p>【職歴】</p> <p>2011年 医療法人 社団慶仁会 川崎病院</p> <p>2020年 九州看護福祉大学看護福祉学部リハビリテーション学科 助教</p>
取得学位	修士（健康科学）
担当科目	理学療法評価学Ⅰ，理学療法評価学Ⅱ，理学療法評価学演習Ⅲ， 運動器理学療法学，運動器理学療法学演習Ⅰ，運動器理学療法学演習Ⅱ， リハビリテーション医学Ⅰ，スポーツ理学療法学
専門分野	運動器系理学療法学，スポーツ理学療法学
所属学会	日本理学療法士協会，熊本県理学療法士会，理学療法科学学会， スポーツ理学療法学会，計測自動制御学会（SICE）
現在の研究テーマ	子どもの運動発達・運動能力と運動器障害について
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Y. Yoshizato, and K, Natsume, “The predictive model study for low back pain during anteflexion in children”The proceedings of SICE2022 (Kumamoto) 2022. 2. M. Sumizono, Y. Yoshizato, R. Yamamoto, T. Imai, A. Tani, K. Nakanishi, T. Nakakogawa, T. Matsuoka, R. Matsuzaki, T. Tanaka, H. Sakakima, “Mechanisms of neuropathic pain and pain-relieving effects of exercise therapy in a rat neuropathic pain model”Journal of Pain Research. 15. 1925-1938. 2022. 3. 二宮省悟, 田島慎也, 原野達也, 西原翔太, 吉里雄伸, 森本将司: Kinectによる動作時膝関節屈曲角度測定の相対信頼性と絶対信頼性の検討. 九州看護福祉大学紀要, 21(1): 3 - 10, 2020. 4. 原野達也, 二宮省悟, 田島慎也, 西原翔太, 吉里雄伸, 石塚利光, 松山裕: ストレッチポールひめトレを用いたトレーニングが身体に及ぼす影響 - 側腹筋厚・股関節内転筋力に着目して -. 理学療法科学, 33(2): 289 - 293, 2018. 5. 吉里雄伸, 浅山勲, 稗田寛: 人工股関節全置換術後のスポーツ活動に関する調査. Hip Joint, 40: 303 - 305, 2014.

関連業績 (受賞歴・科研費・特許等)	【科研費】 1. 2020-2022年(研究活動スタート支援)(課題番号:20K23308) 運動が不器用な子どもの身体機能の特徴・腰痛との関係を探る 研究代表者:吉里雄伸
社会活動・社会貢献	2016-2022年 熊本県選抜男子バレーボールチームトレーナー(中学生) 2016-2021年 福岡県選抜男子フットサルチームトレーナー(社会人)